

施策項目 16

教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進

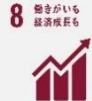
施策の方向性 ～10年後を見据えて～

- 教員の資質能力の向上に向けて、教員養成大学*をはじめとする関係機関と連携して教員の養成・採用・研修の一体的な改革を進めるとともに、広域分散型の本道において求められる人事配置や研修の充実に取り組みます。
- 教員の採用選考検査の方法や内容について、不断に見直しを行い、強い使命感や社会性、実践的指導力など、教員育成指標*を踏まえた本道が求める資質能力を十分に備えた教員の採用に取り組み、安定的な学校体制の構築を目指します。
- 社会の変化を前向きに受け止め、子ども一人一人の学びを最大限に引き出す質の高い指導ができるよう、教員を目指す学生や教員が継続的に知識・技能を習得できるようにします。
- 時代の変化が大きくなる中で、社会のニーズに対応するため、多様な知識・経験を持つ学校外の人材と連携した教育を推進し、教員の資質能力の向上を図ることができるようになります。
- オンラインを活用した研修プログラムの一層の充実を図るなど研修の効率化と質の向上を図るとともに、教員がそれぞれのキャリアステージ*において、主体的に学び続け、資質能力の向上に取り組むことができるよう研修環境の改善・充実に努めます。

主な取組

- **教員養成大学等と連携した教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進**
 - ・ 教員養成大学や市町村教育委員会等と連携した草の根教育実習システム*などの取組強化
 - ・ 教員養成段階における学生の資質能力の向上に向けた教員養成大学との連携強化
- **意欲と能力ある学生の確保に向けた教職の魅力向上に関する取組の充実**
 - ・ 教員ポータルサイトにおける北海道内外の教員を目指す学生・社会人に対する情報発信
 - ・ 高校段階から教職への意識高揚のため、明確な目的をもって教員養成大学を志望できるように支援する教員養成セミナーや、市町村教育委員会と連携したインターンシップの推進
 - ・ 教員養成大学の学生が教員を目指さない理由などの実態を踏まえた潜在的担い手の確保の実施
 - ・ ホームページやSNS等を活用した広報活動の充実
- **資質能力を備える教員の確保に向けた教員採用選考検査の工夫・改善**
 - ・ より受検しやすくなるための方法など、本道の教員を目指す道内外からの志願者の実態を踏まえた選考検査の工夫・改善
 - ・ 電子申請による応募や選考検査実施要領の簡素化、2次検査の受検地選択制など、実施方法の工夫・改善による受検者の確保

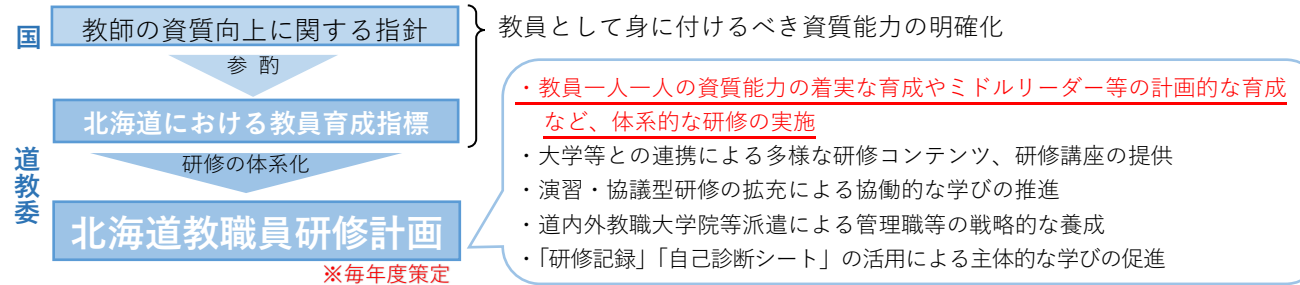
関連する主な SDGs の目標



○ 地域特性を踏まえた人事配置、遠隔システム等を活用した教員研修の実施

- ・ 地域枠採用や広域人事の推進など、地域間の教職員の年齢や経験の差などを踏まえた教職員構成の適正化に向けた教職員人事の促進
- ・ 全道、全国の教員と共に学び、教員としての視野を広げ、本道の教育課題の解決に即戦力として携わる資質能力を高めることができる道内外教職大学院等への教員長期派遣の実施
- ・ 大学等との連携による多様な研修コンテンツの提供等、個別最適な学びに対応した研修の充実
- ・ オンラインミーティングや集合型の演習等による、教員同士の協働的な学びの促進
- ・ 教員育成指標に照らして、個人目標を設定し研修受講の見通しをもつことができる、自己診断シート等の活用による、個別最適な研修を選択し主体的に資質能力の向上に取り組める仕組みの構築

【教員の「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実に向けた研修計画の整備】



- ・ 教職の魅力向上について、ホームページや SNS 等を活用した広報活動の取組
- ・ 教員採用選考検査における電子申請の導入
- ・ 遠隔システム、オンデマンド形式を活用した教員研修の効率化

【推進指標】

指標	現状値	目標値(R9)
教員採用選考検査の受検倍率	2.2 倍 (R4)	3.0 倍
個々の教員が校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している学校の割合	小 84.8%, 中 83.3% (R4)	100%
教員が道教委の研修に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映している学校の割合	小 95.0%, 中 95.1% (R3)	100%



担当課 HP

●教員養成大学

教育職員免許状の取得が卒業要件となっている大学。

●教員育成指標

教員一人一人の資質能力の向上を目的に、北海道における「求める教員像」とともに、キャリアステージに応じて身に付けるべき資質能力を明確化したもの。

●キャリアステージ

養成、初任、中堅、ベテラン、管理職といった、経験年数や職位等の教職の段階。

●草の根教育実習システム

へき地・小規模校における教育実習やへき地校体験実習などの多様な実習体験により、児童生徒との触れ合いや地域との交流を通じた教職のやりがいや醍醐味を醸成する取組。